

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：九州地方整備局 道路部 地域道路課
 担当課長名：西川 勝義

事業名	一般県道 <small>かねがえさけみほさま みつまる</small> 鐘ヶ江酒見間線（三丸）	事業区分	地方道	事業主体	福岡県
起終点	自：福岡県 <small>おおかわ みつまる</small> 大川市大字三丸 至：福岡県 <small>おおかわ みつまる</small> 大川市大字三丸	延長	0.6 km		

事業概要

一般県道鐘ヶ江酒見間線は大川市鐘ヶ江を起点とし、柳川市間を終点とする延長約8kmの幹線道路である。本路線は両市市街地間の連絡機能を有するだけでなく、渋滞が激しい大川市中心部を迂回する交通が集中しているため渋滞が著しい。本区間は平成19年度暫定供用予定の有明海沿岸道路（大川東IC）へのアクセス道路として、有明海沿岸道路から一般国道208号間の0.6kmを4車線で整備するものである。

事業の目的、必要性

狭隘区間の解消により安全で円滑な交通の確保を図るとともに、有明海沿岸道路のアクセス道路としての整備により、物流の効率化に寄与するものである。

全体事業費	20億円		計画交通量	15,700台/日	
費用対効果分析結果	B/C 1.7	総費用 17億円 （事業費：17億円 維持管理費：0.2億円）	総便益 29億円 （走行時間短縮便益：26億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：2億円）	基準年	平成15年

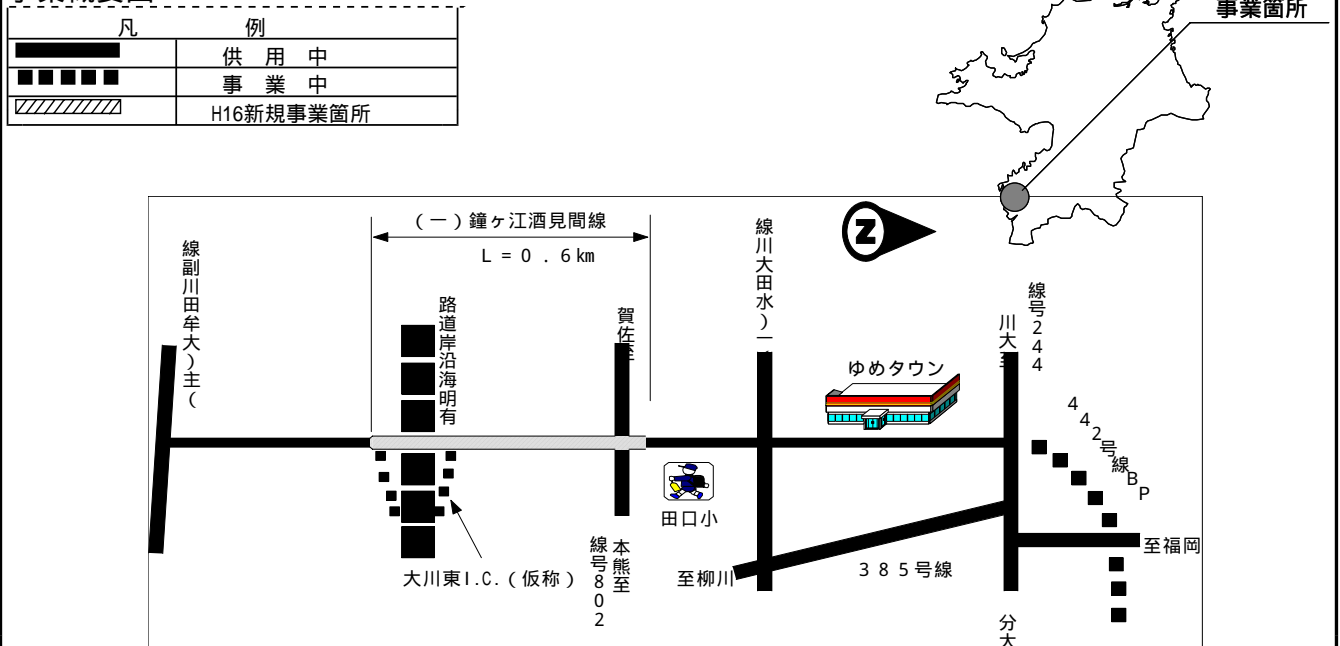
事業の効果等

国土地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する）
 他のプロジェクトとの関係（大規模道路事業（有明海沿岸道路）との一体的整備）
 他6項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見

鐘ヶ江酒見線等の整備促進を目的とした、「有明海沿岸道路建設促進福岡県期成会」から毎年要望を受けている。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。